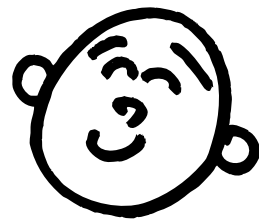




# たかやんの市議会報告



新座市市議会議員 たかむらともや 総務常任委員 語る会 ]  
ホームページ <http://www.takayan-world.com/cheeringparty/>

2007年 4月発行

## 独占 (2年前の本会議資料と比べてみました)

学校名	業者名	ジャージ(上下)
新座中学校	トップスポーツ	6,900 (17年度)
		6,900 (19年度)
第二中学校	トップスポーツ	7,960 (17年度)
		7,960 (19年度)
第三中学校	トップスポーツ	6,630 (17年度)
		5,900 (19年度)
	ぬく洋品店	7,244 (17年度)
		6,400 (19年度)
	シナヤ	6,625 (17年度)
		6,190 (19年度)
スクールベン	6,750 (17年度)	
	6,428 (19年度)	
第四中学校	トップスポーツ	6,500 (17年度)
		6,500 (19年度)
第五中学校	トップスポーツ	6,630 (17年度)
		6,630 (19年度)
第六中学校	トップスポーツ	7,000 (17年度)
		7,000 (19年度)

どうも市内中学校と特定のスポーツ店との関係が異常です。市内の6つの中学校のうち、5校が特定のスポーツ店との独占取引であるということは何度もお伝えしていますが、その関係が是正されません。価格表を見れば一目瞭然、その不自然さが分かります。公教育の場でこういうことが平然と行われてはいけけないのです。学校はこういうことにはもっと敏感になって欲しいものです。普通の生活の中で、同じものを10着かったら・・・割引しましょう!」が当たり前です。それを数百の単位で安定的に買い続けているのに、割引はゼロ。他のところより先高いのでは話になりません。競争原理が働いていないということが起こるのです。表を見て下さい。3中だけが競争していますよね。その結果は? このスポーツ店は価格を落としているでしょ? しかも2年前と比

べて一番安い価格にまで落としています。他の5つの中学校の価格はそのままなの입니다。私は特定のスポーツ店を排除しろと言っているのではありません。どこのスポーツ店でも競合できるようにして欲しい。それが市民の利益に繋がると言っているだけです。体育の教師達がスポーツ店に食事をご馳走になる。自分たちの着ているものをタダで貰う。よく聞く話ですが、新座はそうあって欲しいありません。体育の教師達(あるいは部活動の顧問等、スポーツ店と取引のある教師達)が口を挟めないようなシステムを作ることが、先生達を疑惑から守ることにもなるのです。業者と教師の癒着は現実にあります。被害を被るのは生徒達。そして真面目な教師達なのです。これは氷山の一角です。学校と業者の関係に、皆で目を光らせましょう。